

TBSグループが自ら脱炭素の当事者に ...
TBS GX が「#感動発電」などの取り組みで「Media is Hope
AWARD 2026 上半期 ソリューション賞」を受賞



TBSグループの脱炭素を推進する株式会社TBS Green Transformation(以下、TBS GX)は、一般社団法人Media is Hopeが主催する【Media is Hope AWARD 2026 上半期】の「ソリューション賞」を受賞しました。

TBS GXでは、「ストーリー性のある発電所の建設」を通じ、農業などが抱える社会課題を解決しながら再生可能エネルギーを作り出す「営農型太陽光発電」を推進しています。

6月からは福島県矢吹町の牧草地で発電した電力の緑山スタジオ(横浜市青葉区)への供給を開始しました。このタイミングで、同スタジオで撮影された日曜劇場『VIVANT』のサイドストーリー「ドラムーVIVANT THE ORIGIN STORYー」(U-NEXT 独占配信中)を通して、ドラマ作りにおける脱炭素の取り組みを「#感動発電」として対外的に発信しています。

伝える立場であるメディア自らが、再生可能エネルギー事業を立ち上げて脱炭素の当事者となった点に加え、エンターテインメントの発信力を生かした取り組みが「日本のメディアの新たなスタンダードとなることを期待したい」と評価され、ソリューション賞の受賞に至りました。



9月18日に都内で行われた授賞式で、TBS GX 代表取締役の法亢順は「営農と発電事業のパートナーをはじめとする社内外の多くの方々との繋がりのおかげで、ようやく一步を踏み出せたところです。これからも、想像力をもってさまざまなコンテンツとして発信することで、少しでも多くの人に共感してもらえれば」と述べました。



なお、9月20日からU-NEXTで配信がスタートする「チンギス—VIVANT THE ORIGIN STORY—」においても、#感動発電コラボを継続します。本作は、ドラマ編同様、6月に緑山スタジオ（横浜市青葉区）で撮影が行われ、コンテンツ制作に使われた電気の一部は、福島牧草地から供給されたものです。

■「Media is Hope AWARD」とは

気候変動やSDGsといった社会課題解決へ貢献するメディアやジャーナリスト、コンテンツの功績を讃えるため、一般社団法人Media is Hopeが主催する賞です。問題だけでなく解決策にも焦点を当てる報道や、メディア自身の具体的な取り組みを表彰することで、その価値を社会へ発信しています。

■TBS GXの事業概要

2025年6月に株式会社UPDATERと共同で設立。営農型太陽光発電所などを建設していく発電事業、第三者からの再エネ調達事業そしてグループ各社への脱炭素支援事業を展開します。将来的には、グループ外への事業展開も検討していきます。

■TBS GX コーポレートサイト：<https://www.tbsholdings.co.jp/TBSGX/>

<本リリースに関する問い合わせ先>

株式会社TBSホールディングス サステナビリティ創造センター ESG統括部

電話：03-3746-2541（代表）

メール：tbs-gx@gr.tbs.co.jp